

令和8年度（2026年度）  
事業計画書

1. 申請者の概要

団体名	泉南市商工会
代表者職・氏名	会長 藤田 真弘
所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5
担当者職・氏名	事務局長 土井 一茂
連絡先電話番号	(072) 483-6365
連絡先メールアドレス	<a href="mailto:info@sennan-sci.or.jp">info@sennan-sci.or.jp</a>

事業名		南ブロック商工会創業プラスワン事業	事業番号	1
事業の概要	事業概要	<p>本事業は、商工会が実施する創業塾の受講生を対象に、より実践的な知識習得とネットワーク形成を促進するものである。南ブロック地域の複数商工会が広域連携し、専門家による経営セミナー、先輩創業者との交流会、金融機関とのつながりや意見交換会などを組み合わせ、受講生同士の横の繋がりを強化するとともに、地域を越えたビジネス連携や資金調達支援の機会を提供する。</p>		
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>創業塾修了後の受講生が、事業の具体化・成長段階で直面する課題に対応できるよう、実践的な知識と支援環境を整備することを目的とする。広域連携により多様な視点や事例に触れる機会を創出し、受講生同士の協力関係を育むとともに、民間金融機関との交流を通じて資金調達や経営相談へのアクセスを向上させ、地域全体の創業促進と持続的な事業成長につなげる。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>副業・兼業人材や身の丈創業、週末起業などの個人などを対象に開講された各商工会の創業塾修了または各商工会において個別支援を修了された創業前の受講生をターゲットとする。</p>		
<p>これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。</p>				
<p>具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。</p>		<p>①経営セミナーと創業者・創業予定者交流会を同日開催 実施時期：令和8年8月～10月 ◎経営セミナー（2時間程度） 本セミナーは、創業塾受講生が創業後に直面する「売上拡大」という最重要課題に対し、実践的な知識と具体的な手法を習得することを目的として実施する。創業塾で学んだ一般的な知識を土台に、個別事例からより実践的なマーケティング戦略、新規顧客獲得、価格設定、リピート促進を学ぶなど、事業成長に直結するテーマを専門家が解説し、創業に向けて理解を深める構成とする。また、広域連携により他地域の成功事例も紹介し、多様な視点から自社の課題を見直す機会を提供することで、個別支援の創業計画書ブラッシュアップに繋げ、受講生の事業推進力を高める。 ◎創業者・創業予定者交流会（事業発表1時間、交流会1時間） 本交流会は、創業塾受講生が地域や組織の枠を越えて横のつながりを築き、事業成長に役立つネットワークを形成することを目的として開催する。先輩創業者による体験談共有や質疑応答を通じて、創業初期の課題や乗り越え方を学ぶとともに、他商工会の創業予定者との意見交換により新たな視点や協業の可能性を広げる。</p> <p>【個別支援】</p> <p>②創業予定者への創業計画書作成支援（事業計画作成支援） 経営セミナーを経て、実践的な知識と具体的な手法を習得し、多様な視点から自社の課題を見直すことでより創業計画書をブラッシュアップすることが可能であると認識し、経営支援を実施する。</p> <p>③民間金融期間と創業者の連携支援（支援機関へのつなぎ） 創業者と民間金融機関を繋げることで、民間金融機関の創業支援メニューや資金調達に関する情報提供を行い受講生が安心して事業を進められる環境づくりを促進する。</p>		
事業分野		スモールビジネス支援		
主な事業の目標	総支援対象企業数	<p>設定根拠及び募集方法⇒</p> <p>63 社</p>	<p>セミナー交流会、個別支援の支援企業数は、泉南市商工会10社・阪南市商工会10社・岬町商工会1社とする。募集方法は、各商工会開催の創業塾や個別支援時の告知、各商工会HPや会報での広報活動、市担当課と連携を目指す。</p>	
	成果指標	代表指標	創業者数	<p>数値目標 7 者</p>
	その他目標値	目標値の内容⇒	社	

		積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
<b>事業の運営経費</b> 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	40,400	円 ×	21	社 ×	1.00	=	848,400	円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			計	21	社	(小計)		848,400		
<b>個別支援に要する経費</b> 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	50,000	円 ×	21	社 ×	1.00	=	1,050,000	円	
		10,000	円 ×	21	社 ×	1.00	=	210,000	円	
			円 ×		社 ×		=		円	
			円 ×		社 ×		=		円	
				計	42	社	(小計)		1,260,000	円
<b>補助対象事業費 計</b>								計	2,108,400	円
算出額	受益者負担		円		受益者負担額の積算					
	補助対象事業費		補助率			(受益者負担)				
	2,108,400	円	×	1.00	=	2,108,400	円	(	円)	
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		支援企業数	役割 (配分の考え方)			
	○	泉南市商工会		1,004,000 円		30	■交流会(@40,400円) 泉南市10社、阪南市10社、岬町1社			
		阪南市商工会		1,004,000 円		30	■事業計画作成支援(@50,000円) 泉南市10社、阪南市10社、岬町1社			
		岬町商工会		100,400 円		3	■支援機関へのつなぎ(@10,000円) 泉南市10社、阪南市10社、岬町1社			
				円			上記の内訳に基づいて、各団体に補助金を配分する。			
			円							